

きつおん

# 吃音 の子どもと どう向き合う？

音読や発表は  
指名しても  
大丈夫？



**基本「大丈夫です」**

挙手をしていたら、  
他の児童と 同様に 指名してください。

- ・発表や音読に時間がかかるかもしれませんが、待ってあげてください。
- ・どもって、からかわれることがないようにお願いします。

音読しやすい  
方法は  
ありますか？



**誰かと声をそろえると**

**読みやすいことがあります**

「2人で」「グループで」「全員で」「先生と」  
読み始めだけ 一緒に言う方法も あります



どんな ふうに  
接したら いいの  
かな？



**話し方（どもること）に 目を向けず  
話す内容を 受けとめて…**

- ◎どもっていても 気にしない
- ◎ゆったりと 話を聞く
- ◎最後まで 話を聞く
- ◎「〇〇ね～」と復唱しながら 聞くと  
「伝わった」と 安心できる



学級の  
友だちへは  
どう働きかけ  
たらいい？



**「すらすら 話せなくても 大丈夫」と  
安心できる 学級**

- ◎笑ったり からかったり しない学級
- ※決して ふざけている・わざとやっているわけではない
- ◎吃音のある話し方を 受け入れる
- ※せかさず、話を聞くことが大切
- ◎先生の態度が 子ども達に影響します

※詳しくは **周囲の理解②③④**  
をご覧ください

よくない対応は  
ありますか？



- × 「ゆっくりでいいよ」「あわてないで話そう」などの助言
- × 先回りして 教員が 話してしまう
- × どもらなかったときに「つかえなかったね」「すらすら読めたね」とほめる



なぜ よくないのでしょうか？

### <よくない 対応>

- × 「ゆっくりでいいよ」「あわてないで話そう」などの助言

「うまく話したい…」と思っても、思うようにならないのが 吃音です。  
また、あわてているわけでもありません。話し方のアドバイスは かえって 話しにくくなります。

- × 先回りして 教員が 話してしまう

先取りした言葉が 必ずしも 本人の思いや考えと 同じとは かぎりません。  
また、先に言われると「早く 言わなくては…」と あせってしまいます。

- × 「つかえなかったね」「すらすら読めたね」と ほめる

「どもらなかったこと」を褒める



「どもることは 悪いこと…」  
「どうしよう…どもらないようにしなくっちゃ」  
と、かえってプレッシャーに感じます。



「どもっても大丈夫」「どもることは 悪いことではない」と 安心して どもれる環境が  
大切です。



吃音のある子どもが 受け入れられ  
安心して 生活できる学校



どの子どもにとっても 心地よい学校 と  
思われます